

令和8年度

福井大学大学院工学研究科  
博士前期課程  
学生募集要項

推薦選抜

一般選抜

社会人特別選抜

外国人留学生特別選抜

令和7年4月



## 日程の概要

選 抜 区 分	推 薦 選 抜	第 1 次 募 集	(第 2 次 募 集) (注 1)
		一般選抜・社会人特別選抜 ・外国人留学生特別選抜	一般選抜・社会人特別選抜 ・外国人留学生特別選抜
出願資格前審査 書類提出期限(注2)	—	令和7年7月11日(金)	令和7年10月31日(金)
出 願 期 間	令和7年6月2日(月)～ 6月9日(月)	令和7年7月25日(金)～ 7月31日(木)	令和7年11月17日(月)～ 11月20日(木)
選 抜 期 日	令和7年7月4日(金)	令和7年8月21日(木)	令和7年11月28日(金)
合 格 者 発 表	令和7年7月16日(水)	令和7年9月10日(水)	令和7年12月10日(水)
入学手続書類の送付	令和7年10月上旬		
入学手続期間	令和7年10月20日(月)～10月23日(木)		令和7年12月15日(月)～ 12月18日(木)

注1) 推薦選抜及び第1次募集で定員に満たない場合のみ第2次募集を実施します。第2次募集の実施の有無については、令和7年9月以降に本学ホームページでお知らせしますので確認してください。

注2) 出願資格審査書類の提出が必要となる者は、各選抜における出願資格の(9)及び(10)に該当する者のみです。詳細については、出願する選抜の「1. 出願資格」で確認してください。

## 目 次

<b>I. アドミッション・ポリシー</b> . . . . .	1
<b>II. 共通事項</b>	
1. 募集人員 . . . . .	3
2. 出願期間 . . . . .	3
3. 出願手続 . . . . .	3
4. 障がいのある入学志願者の事前相談 . . . . .	9
5. 合格者発表 . . . . .	9
6. 入学手続等 . . . . .	9
7. 欠員補充の方法 . . . . .	10
8. 長期履修学生制度 . . . . .	10
9. 安全保障輸出管理について . . . . .	10
10. 個人情報の利用 . . . . .	11
<b>III. 推薦選抜</b>	
1. 出願資格 . . . . .	12
2. 志願専攻に関する事前相談等 . . . . .	12
3. 選抜方法等 . . . . .	12
<b>IV. 一般選抜</b>	
1. 出願資格 . . . . .	13
2. 選抜方法等 . . . . .	14
<b>V. 社会人特別選抜</b>	
1. 社会人特別選抜の概要 . . . . .	15
2. 出願資格 . . . . .	15
3. 選抜方法等 . . . . .	16
<b>VI. 外国人留学生特別選抜</b>	
1. 出願資格 . . . . .	17
2. 選抜方法等 . . . . .	18
<b>VII. 学力検査等の方法</b> . . . . .	19
<b>VIII. 工学研究科博士前期課程案内</b>	
1. 各専攻の授業科目及び授業担当教員 . . . . .	31

**<注意>**

- ・ 本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・ 受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。[ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・ 電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください

# I. アドミッション・ポリシー

## (1) 養成する人材像

工学研究科では、確かな専門知識と高い倫理観を有し、自然や環境と調和した人間社会の豊かな発展に貢献できる工学系人材を養成します。特に、博士前期課程では、スペシャリストとしての専門の深い知識と同時に、分野の多様性を理解し、他者との協調の下、異分野との融合・学際領域の推進も見据えることができるジェネラリストとしての幅広い知識・俯瞰的視野を持つ高度専門技術者及び研究者等を養成します。

### ○産業創成工学専攻

化学やバイオ、機械に関連する基盤技術に関する知識と技術経営を融合し、繊維等の特色ある地域産業や自動車等の輸送機器産業、医療や農業、食品産業などのさまざまな産業・分野における活力的な発展に資する研究開発とその教育を行い、「ものづくり」に加え「ことづくり」をも担う高度専門技術者及び研究者等を養成します。

### ○安全社会基盤工学専攻

エネルギーの安定的確保や持続可能な都市・地域のための社会基盤実現が社会から強く求められている中、そのような安全・安心で快適・効率的な社会を創造し持続させるために必要な社会の抱えているリスクの軽減や人類の利便性の向上に資する研究開発とその教育を行い、持続可能な社会の創造に必要な技術革新に取り組み、新たな社会基盤技術の創出に貢献する高度専門技術者及び研究者等を養成します。

### ○知識社会基礎工学専攻

第3次産業革命（情報・通信）および第4次産業革命（ロボット・知能システム）の技術革新を利活用して、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会（Society5.0）の実現に向けた、知識基盤社会に資する基礎研究およびその教育を行い、Society5.0で示された新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域で活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会である「知識基盤社会」を支える工学を担う高度専門技術者及び研究者等を養成します。

## (2) 求める学生像

### (2-1) 能力、意欲等

工学研究科博士前期課程では、養成する人材像を踏まえ、以下のような入学者を求めます。

1. 専門分野の研究に取り組みたい人
2. 未来社会を支える科学技術の創造と開発に意欲のある人
3. 人間社会の持続的発展に寄与する研究開発をグローバルな視点から進めたい人

### (2-2) 入学までに学習・修得しておくことが期待される内容

志願者には、志望する専門分野の基礎知識（大学卒業程度）とその活用方法、論理的思考力、英語の能力などを身に付けておくことを期待します。

### (3) 入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため、推薦選抜、一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜を実施します。それぞれの選抜においては、求める学生像を踏まえ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

以下において、下線が引かれた学力検査や資料等は判定にあたり重視するものです。ただし、下線が引かれていないものでも、評価結果が著しく低い場合には、判定に大きく影響します。

**推薦選抜**は、成績が優秀で人物ともに優れ、在籍する大学の学長又は学部長等が責任をもって推薦できる者を対象とします。口述試験及び面接、書類審査により、志望する専門分野の基礎知識および意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

**一般選抜**では、原則として、基礎科目、専門科目、外国語科目の試験を課します。その結果と学部での成績により、志望する専門分野の基礎知識や英語の能力等を評価します。さらに、口述試験及び面接、書類審査により意欲・適性等を評価します。これらの結果を総合して評価・判定します。

**外国人留学生特別選抜**は、国費外国人留学生又は私費外国人留学生として入学を希望する者で、成績優秀な者を対象とします。学力検査を免除し、口述試験及び面接、書類審査により、志望する専門分野の基礎知識および意欲・適性・目的意識等を総合的に評価・判定します。

**社会人特別選抜**では、企業等に勤務している者で所属長からの推薦を受けた者を対象とします。口述試験及び面接、書類審査により、志望する専門分野の基礎知識および意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

産業創成工学専攻の経営技術革新情報工学コース、安全社会基盤工学専攻の電気システム情報工学コース及び知識社会基礎工学専攻の知能システム科学コースと情報工学コースの志願者に対しては、全ての選抜において、情報あるいは数学の基礎学力を確認します。

## Ⅱ. 共 通 事 項

### 1. 募集人員

専 攻	コ ー ス	推 薦 選 抜	第 1 次 募 集 ・ ( 第 2 次 募 集 )		
			一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜
産 業 創 成 工 学 攻	繊 維 先 端 工 学 コ ー ス	8 8 名		若 干 名	若 干 名
	材 料 開 発 工 学 コ ー ス				
	生 物 応 用 化 学 コ ー ス				
	創 造 生 産 工 学 コ ー ス				
	経 営 技 術 革 新 情 報 工 学 コ ー ス				
安 全 社 会 基 盤 工 学 専 攻	機 械 設 計 工 学 コ ー ス	9 0 名		若 干 名	若 干 名
	電 気 シ ス テ ム 情 報 工 学 コ ー ス				
	建 築 土 木 環 境 工 学 コ ー ス				
	原 子 力 安 全 工 学 コ ー ス				
知 識 社 会 基 礎 工 学 専 攻	知 能 シ ス テ ム 科 学 コ ー ス	1 0 5 名		若 干 名	若 干 名
	情 報 工 学 コ ー ス				
	数 理 科 学 コ ー ス				
	電 子 物 性 コ ー ス				
	電 磁 工 学 コ ー ス				
計		2 8 3 名			

※募集人員：経営技術経営技術革新情報工学コースは8名、電気システム情報工学コースは22名、知能システム科学コースは37名、情報工学コースは37名

### 2. 出願期間

推 薦 選 抜		令 和 7 年 6 月 2 日 ( 月 ) ～ 6 月 9 日 ( 月 ) 1 6 時 必 着
一 般 選 抜 ・ 社 会 人 特 別 選 抜 ・ 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜	第 1 次 募 集	令 和 7 年 7 月 2 5 日 ( 金 ) ～ 7 月 3 1 日 ( 木 ) 1 6 時 必 着
	( 第 2 次 募 集 )	令 和 7 年 1 1 月 1 7 日 ( 月 ) ～ 1 1 月 2 0 日 ( 木 ) 1 6 時 必 着

推薦選抜及び第1次募集で定員に満たない場合のみ第2次募集を実施します。第2次募集の実施の有無については、令和7年9月以降に本学ホームページでお知らせしますので確認してください。

### 3. 出願手続

出願手続は、インターネット出願システムでの出願情報入力及び入学検定料の支払を行った後、必要な書類等を郵送又は持参することにより、出願完了となります。

#### (1) 出願について

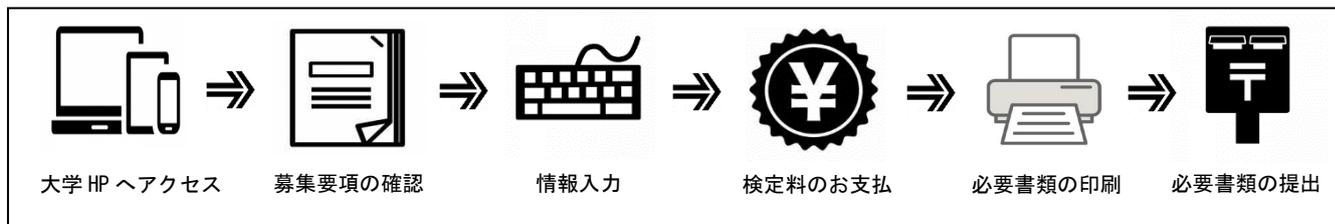
- ① 出願書類等は市販の角型2号封筒(240mm×332mm)に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、本学入試課へ郵送(簡易書留速達)するものとし、出願期間最終日の16時までに必着するよう十分配慮し送付してください。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち出願期間最終日の2日以前の発信局日付印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。持参の場合は、9時から16時(土・日を除く)に本学入試課へ提出してください。ただし、検定料の納入は必ず所定の手続により行ってください。

提出先 〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

- ② 郵便局で交付される簡易書留郵便受領証等は、大切に保管してください。

## (2) 出願方法

### ○インターネット出願の流れ



インターネット出願により行います。出願完了には下記①～④のすべての手続きが必要です。

#### ①インターネットによる出願情報の入力

出願サイトへは、福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) からアクセスできます。

「受験生の方へ」→「入学者選抜インターネット出願」→「インターネット出願サイトURL (<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-fukui/>)」→「出願手続き・検定料のお支払い」

#### 出願情報入力可能期間

推薦選抜		令和7年5月26日(月)～6月9日(月) 16:00
一般選抜・社会人特別選抜 ・外国人留学生特別選抜	第1次募集	令和7年7月18日(金)～7月31日(木) 16:00
	(第2次募集)	令和7年11月10日(月)～11月20日(木) 16:00

\* 出願期間とは異なります。

#### ②入学検定料の支払

入学検定料 30,000円

入学検定料の詳細は、8ページの「(4) 検定料の支払方法」を参照してください。

#### ③必要書類等の印刷

#### ④必要書類等の提出

(注) インターネット出願は、インターネットでの情報入力及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続完了とはなりません。出願期間内に、5ページから8ページの出願書類を提出することで完了となります。

(3) 出願書類等

①インターネット出願サイトから印刷するもの

出願書類等	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 社会人	外国人留学生 特別選抜	留意事項等
出願確認票 (提出用)			○		<p>インターネット出願情報入力及び検定料支払後、情報入力完了メールに記載されている URL から、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。</p> <p>写真は、志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身無帽・正面向き・無背景・直近3か月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。</p> <p><b>写真をアップロードした後、申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷した「出願確認票」を提出してください。</b></p> <p>※印字されている内容に誤りがないか確認してください。出願確認票は、検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了していないと印刷できません。</p>
出願封筒用宛て名ラベル			○ (郵送する場合のみ)		<p>インターネット出願情報入力後、申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください(普通紙印刷で糊付け可)。</p> <p>注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。また、出願後受信場所が変更となった場合は、速やかに連絡してください。封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を使用し、簡易書留速達で郵送してください。</p>

②その他必要な提出書類

出願書類等	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 社会人	外国人留学生 特別選抜	留意事項等
卒業(見込)証明書 ※(原本)コピー不可			○		<p>出身大学の卒業(見込)証明書で、大学長又は学部長等発行のもの。</p> <p>なお、<b>本学卒業(見込)者及び大学・短期大学専攻科・高等専門学校専攻科の成績証明書に卒業(見込)年月日が記載されている者は、提出は不要です。</b></p> <p><b>推薦選抜</b></p> <p>出願資格(2)に該当する者は、修了見込証明書と学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長又は高等専門学校長の証明書を提出してください。</p>
推薦書	○	—	○ (任意)	—	<p>本学ホームページ(https://www.u-fukui.ac.jp/)「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷の上、在籍大学等の学長(学部長)・学校長又は指導教員等が作成し、厳封したもの。</p>

出願書類等	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 社会人	外国人留学生 特別選抜	留意事項等
成績証明書 ※(原本)コピー不可		○			出身大学の成績証明書で、大学長又は学部長等発行のもの。 出願資格(2)に該当する者は、短期大学又は高等専門学校(高専)の成績証明書と専攻科の成績証明書の両方を提出してください。
学位証明書 ※(原本)コピー不可	—	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願資格(2)に該当する者は、学位証明書を提出してください。学位を授与される見込みの者は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長又は高等専門学校長の証明書を提出してください。</li> <li>・外国の大学その他の外国の学校を卒業した者は、学士相当の学位を取得したことを証明する書類(学位取得証明書等)を提出してください。 注) 修士又は博士の学位を授与している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。</li> </ul> <p><b>※日本国内の大学を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。</b></p>
TOEIC/TOEFL 公式認定証	—	○	—	—	<p>TOEIC 又は TOEFL のスコア(個人用公式認定証)を提出して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC の場合 : Official Score Certificate 又は Digital Official Score Certificate (推奨)</li> <li>・TOEFL の場合 : Test Taker Score Report 又は Official Score Report</li> </ul> <p>なお、スコアは2023年9月1日以降発行のものに限ります。また、TOEIC-IP(カレッジTOEIC)、TOEIC SW、TOEIC Bridge、TOEFL ITPのスコアは認めません。</p> <p>TOEIC については、原則 Digital Official Score Certificate を印刷したものを提出してください。Official Score Certificate の場合は、出願時にスコアのコピーを提出し、選抜試験当日に原本を持参してください。原本確認ができない場合は、失格となる場合があります。(Digital Official Score Certificate を提出する場合は当日持参する必要はありません。)</p>
研究計画書	—	—	○	—	<p>本学ホームページ (<a href="https://www.u-fukui.ac.jp/">https://www.u-fukui.ac.jp/</a>)「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式に、入学後の研究計画について1,000字以内で記入してください。所定様式に準じて作成しても構いません。A4サイズで印刷の上、提出してください。</p> <p>※出願確認票に記載された受験番号を記載してください。</p>

出願書類等	推薦選抜	一般選抜	社会人 特別選抜	外国人留学生 特別選抜	留意事項等
業務概要	—	—	○	—	現在までに携わった研究・技術職の内容を詳しく記入したものを提出してください。様式は任意です。※出願確認票に記載された受験番号を記載してください。
受験承諾書	—	—	○	—	本学ホームページ ( <a href="https://www.u-fukui.ac.jp/">https://www.u-fukui.ac.jp/</a> ) 「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷の上、勤務先の所属長又はこれに準ずる者が記入・押印したものを提出してください。 ※出願確認票に記載された受験番号を記載してください。
履歴事項	○ (外国の学校教育を受けた方等)				本学ホームページ ( <a href="https://www.u-fukui.ac.jp/">https://www.u-fukui.ac.jp/</a> ) 「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式に記入してください。A4サイズで印刷の上、提出してください。  ※欄外にある「指導希望教員確認欄」に指導希望教員から確認印をもらう必要があります。ただし、学外等遠方からの志願者で確認印がもらえない場合は、教員の承諾を得た日を記載してください。 ※出願確認票に記載された受験番号を記載してください。
住民票等	○ (外国人の方)				本邦在留の外国人は、市区町村長発行の住民票(本人に係るすべての事項(在留資格や在留期間等を含む)を証明したもの)を提出してください(コピー不可)。海外住居者は、住民票の代わりにパスポートのコピー(姓名、国籍及び生年月日が記載されたページ)を提出してください。なお、在留資格が「留学」または入学に支障のない「中長期在留者」以外の者は、在留資格に係る承諾書(本学ホームページ( <a href="https://www.u-fukui.ac.jp/">https://www.u-fukui.ac.jp/</a> )「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷の上)を提出してください。 ※出願確認票に記載された受験番号を記載してください。

注①出願者は、出願前に、あらかじめ希望する指導教員の了承を得る必要があります。

②提出する書類のうち証明印、サインのあるものは、コピーの提出は認めません。

③出願書類は黒のボールペン書き(消せるボールペンは使用不可)とし、かい書で正確に記入してください。

④受理した出願書類等は、どのような理由があっても返還しません。

⑤出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。

⑥出願書類等の偽造、虚偽記載、剽窃、その他選抜の公平性を損なう不正な行為が認められた場合には、出願を取り消します。また、出願受理後または入学後に書類等に不正があることが明らかになった場合には、出願受理または入学許可を取り消します。なお、この場合、検定料及び入学料は返還しません。

⑦日本語又は英語以外で書かれた書類については、日本語の訳文を添付してください。

(Please attach Japanese translation to documents that are written in languages other than Japanese or English.)

⑧出願資格の(9)又は(10)に該当する者は、出願資格審査で既に提出されている書類に関しては、改めて提出する必要はありません。

(4) 検定料の支払方法

① 検定料 30,000円

検定料の他に、支払手数料(自己負担)が必要です。

② 支払期間

推 薦 選 抜		令和7年5月26日(月)～6月9日(月)
一般選抜・社会人特別選抜 ・外国人留学生特別選抜	第1次募集	令和7年7月18日(金)～7月31日(木)
	(第2次募集)	令和7年11月10日(月)～11月20日(木)

※出願期間とは異なります。出願書類等は、出願期間最終日16時まで提出であることに特に注意して早めに支払ってください。

③ 支払方法 コンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easyでの支払)、クレジットカード(VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club)及びネットバンキングのいずれかで支払可能です。

④ 支払に際しての留意事項

ア. 銀行窓口での支払はできません。

イ. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。

ウ. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。

エ. 支払手数料は、入学志願者本人の負担となります。

⑤ 検定料の返還に関する留意事項

出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の検定料は返還しません。

次の該当者は、速やかに本学入試課に問い合わせてください。

ア. 検定料を支払ったが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

イ. 検定料を誤って二重に支払った場合

振込先口座が、日本国外の金融機関の場合、振込手数料等は志願者の負担となります。本学に振り込まれた金額から手数料等を控除して返還します。

(5) 受験票の印刷

推 薦 選 抜		令和7年6月14日(土) 9時
一般選抜・社会人特別選抜 ・外国人留学生特別選抜	第1次募集	令和7年8月5日(火) 9時
	(第2次募集)	令和7年11月25日(火) 9時

上記日時から、インターネット出願サイトより受験票の印刷が可能になります。申込確認画面からログインし、A4サイズで印刷してください。

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。なお、氏名等に間違いがある場合には、本学入試課へ連絡してください。

連絡先 0776-27-9927

#### 4. 障がいのある入学志願者の事前相談

本研究科入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、以下のとおり本学入試課（電話 0776-27-9927）に出願前申請を行ってください。

また期限後にやむを得ない事情等により申請が必要になった場合には、速やかに電話等により相談ください。

1. 出願前申請の期限

出願期間開始 14 日前まで

2. 事前相談の申請方法等

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「トップページ」→「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

#### 5. 合格者発表

推薦選抜		令和7年7月16日(水) 10時
一般選抜・社会人特別選抜 ・外国人留学生特別選抜	第1次募集	令和7年9月10日(水) 10時
	(第2次募集)	令和7年12月10日(水) 10時

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) の「受験生の方へ」内に合格者受験番号を発表するとともに、合格者あてに合格通知書を送付します。なお、電話による照会には一切応じません。

#### 6. 入学手続等

推薦選抜及び第1次募集の合格者には、10月以降に入学手続関係書類を送付するので、その内容をよく確認して手続を行ってください。第2次募集の合格者には、合格通知書とともに入学手続関係書類を送付します。

なお、入学手続期間内に所定の入学手続を完了しなかった者は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。

##### (1) 入学手続期間・方法

推薦選抜		令和7年10月20日(月)～10月23日(木) 最終日16時までに必着のこと
一般選抜・社会人特別選抜 ・外国人留学生特別選抜	第1次募集	
	(第2次募集)	令和7年12月15日(月)～12月18日(木) 最終日16時までに必着のこと

入学手続は、郵送又は持参によるものとします。

- ① 郵送の場合は、入学手続書類等を本研究科所定の封筒に同封のうえ、簡易書留郵便で入学手続期間内に必着するよう送付してください。入学手続期間後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情を考えて早めに送付してください。
- ② 持参の場合は、入学手続期間の9時～17時に本学入試課へ提出してください。ただし、最終日は16時までに提出してください。

##### (2) 入学手続時に要する経費

① 入学料 282,000円(予定額)

② 授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

授業料については、入学手続時に入学料と併せて前期分又は前・後期分を一括して納入

することもできます。入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

入学時及び在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。

### ③ 傷害保険及び賠償責任保険

教育研究活動中の事故を補償するために、入学時に全員が何らかの傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

本学では、学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）及び学研災付帯賠償責任保険の取り扱いがありますが、その他大学生協等で同等の傷害保険及び賠償責任保険に加入しても構いません。

### (3) 入学料免除・徴収猶予と授業料免除・徴収猶予

経済的理由等により、入学料・授業料の納入が困難な者には、入学料免除・徴収猶予、授業料免除・徴収猶予制度があります。

希望者は、合格者に送付する「入学手続要項」の入学料免除・徴収猶予、授業料免除・徴収猶予に関する欄を熟読して、所定の期間に申請をしてください。

なお、上記の経済的理由等によるものの他に、博士前期課程推薦選抜における合格者、現職教員、企業等に勤務している社会人にあつては、大学院入学時の成績が優秀な者に対して、入学後1年間の授業料を半額免除する制度があります。希望者は、所定の期間に申請をしてください。

制度の詳細、また、奨学金等、その他の支援制度については、「入学手続要項」や大学ホームページにてご確認ください。

## 7. 欠員補充の方法

### (1) 追加合格

入学手続完了者が定員に達しない場合は、合格者を追加します。この場合、追加合格者には、出願確認票の「本人携帯電話」等の電話番号に連絡し、入学の意思確認を行うので、確実に連絡が取れる連絡先を記入するとともに、着信がないかどうか十分に注意してください。追加合格に係る入学手続は、該当者に直接指示します。

### (2) 第2次募集

追加合格によっても、なお入学定員に欠員が生じた場合には、第2次募集を行うことがあります。この募集の実施の有無等は、令和7年9月以降に本学ホームページでお知らせします。

## 8. 長期履修学生制度

本研究科に入学しようとする者で、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修することを希望する者は、合格者に送付する「入学手続要項」等送付時に同封する長期履修学生制度に関する通知を熟読し、入学手続前に所定の申請をしてください（外国人留学生は対象外）。

## 9. 安全保障輸出管理について

福井大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「福井大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規則事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「福井大学安全保障輸出管理規程」

<https://www4.kitei-kanri.jp/unv/fukui/doc/extramural/rule/156.html>

## 10. 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備（学籍管理、履修準備含む）、④入試の改善や志願動向等の調査、⑤入学後の履修指導や教務関係事務に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すこととなります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害する恐れがない範囲で、学術研究の目的のために提供する場合

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

## Ⅲ. 推 薦 選 抜

学問・研究に意欲のある成績優秀な学生で、本学大学院工学研究科に入学を希望するものに対し、書類審査と口述試験及び面接による推薦選抜を実施します。

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者で学業成績が優秀で人物ともに優れ、在籍大学等の学長又は学部長あるいは指導教員が責任を持って推薦できる者で合格した場合には入学を確約できる者

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学を令和 8 年 3 月に卒業見込みの者
- (2) 短期大学又は高等専門学校の特攻科を令和 8 年 3 月に修了見込みの者で、修了までに独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者

### 2. 志願コースに関する事前相談等

志願コースは、出身大学等において専攻している学科と同系列であること。

なお、同系列と判断し難い学科の場合、学業等に関することの質問がある場合は、出願前に問い合わせてください。

質問の受付及び回答は、本学入試課を通じて行いますので、次の連絡先に E-mail で問い合わせてください。

質問はできるだけ具体的に記述し、志願専攻及び連絡先を必ず明記してください。

#### 【問い合わせ先】

〒910 - 8507 福井市文京 3 - 9 - 1 福井大学学務部入試課

E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

### 3. 選抜方法等

#### (1) 選抜方法

各コースで実施する学力検査等及び書類審査の結果を総合して行います。

19 ページからの「Ⅶ.学力検査等の方法」を参照してください。

#### (2) 選抜期日等

① 日 時 **令和 7 年 7 月 4 日（金） 13 時～**

② 試験場 福井大学工学部 福井市文京 3 - 9 - 1

当日は、コースごとの試験室となる建物の玄関前に試験室場所の掲示を行います。

試験室となる建物の情報は、試験日の 2 日前までに本学ホームページに掲載します。

#### (3) 受験上の留意事項

① 受験者は、必ず受験票を携帯し、試験開始 15 分前までに各試験室等へ集合してください。

② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後 30 分以内に限り受験を認めます。

③ 本研究科が課す推薦選抜試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。

## IV. 一 般 選 抜

### 1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学を卒業した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者又は令和 8 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 8 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- (9) 令和 8 年 3 月末日において、次に掲げる事項のいずれかを満たし、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
  - ① 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者
  - ② 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者
  - ③ 外国において、学校教育における 15 年の課程を修了した者
  - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
  - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達しているもの

※ 出願資格の（9）又は（10）によって出願する者は、出願期間前に出願資格審査が必要となるので、「出願資格審査調書」（本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式）に必要書類を取りそろえ、第 1 次募集は令和 7 年 7 月 11 日（金）16 時まで、第 2 次募集は令和 7 年 10 月 31 日（金）16 時まで本学入試課へ提出してください。

なお、審査の結果は出願期間開始日までに本人あてに通知します。

## 2. 選抜方法等

### (1) 選抜方法

各コースで実施する学力検査等及び書類審査の結果を総合して行います。  
19 ページからの「VII.学力検査等の方法」を参照してください。

### (2) 選抜期日等

#### ①日 時

第1次募集	令和7年8月21日(木)	試験開始時刻は「VII. 学力検査等の方法」を参照してください。
(第2次募集)	令和7年11月28日(金)	

#### ② 試験場

福井大学工学部 福井市文京3-9-1

当日は、コースごとの試験室となる建物の玄関前に試験室場所の掲示を行います。

試験室となる建物の情報は、試験日の2日前までに本学ホームページに掲載します。

### (3) 受験上の留意事項

- ① 受験者は、**必ず受験票を携帯し、試験開始15分前までに各試験室等へ集合**してください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。
- ③ 本研究科が課す選抜試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。

## V. 社会人特別選抜

### 1. 社会人特別選抜の概要

#### (1) 趣旨

「社会人特別選抜」とは、企業等に勤務している者を、所属長からの推薦に基づいて選抜する制度のことであり、推薦を行う企業等は、在職のままの修学について応諾することを前提としています。この制度は、社会に開かれた大学院教育の一環として、社会人に対して再教育の場を提供するとともに、大学と産業界との活発な交流により、新しい学問を「新しい技術」に展開・発展させることを目的として実施するものである。

#### (2) 教育方法の特例の概要

- ① 教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法を認めることがあります。
- ② 入学に当たっては、指導教員の指導の下に2年間を見通した履修計画を提出してください。なお、勤務の都合から履修計画に変更が生じた場合は、その都度申し出て許可を得てください。
- ③ 企業等における研究も、その内容が修士論文にふさわしければ研究のテーマとして認め、また、勤務先の設備を利用した研究を認めることがあります。

### 2. 出願資格

各種の研究機関、教育機関又は企業等に勤務する技術者又は研究者で、入学後もその身分を有し、所属長からの推薦を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (9) 令和8年3月末日において、次に掲げる事項のいずれかを満たし、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
  - ① 学校教育法（昭和23年法律第26号）第83条に定める大学に3年以上在学した者
  - ② 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者
  - ③ 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
  - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該

外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者

- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までには 22 歳に達しているもの

※ 出願資格の（9）又は（10）によって出願する者は、出願期間前に出願資格審査が必要となるので、「出願資格審査調書」（本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式）に必要書類を取りそろえ、第 1 次募集は令和 7 年 7 月 11 日（金）16 時まで、第 2 次募集は令和 7 年 10 月 31 日（金）16 時までには本学入試課へ提出してください。  
なお、審査の結果は出願期間開始日までに本人あてに通知します。

### 3. 選抜方法等

#### (1) 選抜方法

各コースで実施する学力検査等及び書類審査の結果を総合して行います。  
19 ページからの「VII.学力検査等の方法」を参照してください。

#### (2) 選抜期日等

##### ① 日 時

第 1 次募集	令和 7 年 8 月 21 日（木）	試験開始時刻は「VII. 学力検査等の方法」を参照してください。
（第 2 次募集）	令和 7 年 11 月 28 日（金）	

##### ② 試験場

福井大学工学部 福井市文京 3-9-1

当日は、コースごとの試験室となる建物の玄関前に試験室場所の掲示を行います。

試験室となる建物の情報は、試験日の 2 日前までに本学ホームページに掲載します。

#### (3) 受験上の留意事項

- ① 受験者は、**必ず受験票を携帯し、試験開始 15 分前までに各試験室等へ集合**してください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後 30 分以内に限り受験を認めます。
- ③ 本研究科が課す選抜試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。

## VI. 外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者（出願時に出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者又は入学に支障のない中長期在留者）で、本研究科に入学を希望する成績優秀な者について、学力検査を免除した特別選抜を実施します。

なお、この特別選抜によらず、一般選抜で出願することもできます。

### 1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学を卒業した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者又は令和 8 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 8 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- (9) 令和 8 年 3 月末日において、次に掲げる事項のいずれかを満たし、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
  - ① 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者
  - ② 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者
  - ③ 外国において、学校教育における 15 年の課程を修了した者
  - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
  - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時まで 22 歳に達しているもの

※ 出願資格の(9)又は(10)によって出願する者は、出願期間前に出願資格審査が必要となるので、「出願資格審査調書」(本研究科所定の用紙)に必要書類を取りそろえ、第1次募集は令和7年7月11日(金)16時まで、第2次募集は令和7年10月31日(金)16時まで本学入試課へ提出してください。  
なお、審査の結果は出願期間開始日までに本人あてに通知します。

## 2. 選抜方法等

### (1) 選抜方法

各コースで実施する学力検査等及び書類審査の結果を総合して行います。  
19ページからの「VII.学力検査等の方法」の欄を参照してください。

### (2) 選抜期日等

#### ① 日 時

第1次募集	令和7年8月21日(木)	試験開始時刻は「VII. 学力検査等の方法」を参照してください。
(第2次募集)	令和7年11月28日(金)	

#### ② 試験場

福井大学工学部 福井市文京3-9-1

当日は、コースごとの試験室となる建物の玄関前に試験室場所の掲示を行います。

試験室となる建物の情報は、試験日の2日前までに本学ホームページに掲載します。

### (3) 受験上の留意事項

- ① 受験者は、**必ず受験票を携帯し、試験開始15分前までに各試験室等へ集合**してください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。
- ③ 本研究科が課す選抜試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。

## VII. 学力検査等の方法

### 産業創成工学専攻

#### 【繊維先端工学コース，材料開発工学コース，生物応用化学コース】

	推薦選抜	第1次募集				(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)				11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	科目②	外国語 科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—				—	—
一般選抜	—	9:00～ 10:20	10:40～ 12:00	※	13:00～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—				13:00～	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—				13:00～	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目① (80分) ※第1次募集のみ	<p>基礎科目 <b>※出願時に受験科目を選択</b> 有機化学，無機化学，物理化学，生物化学，化学工学 上記5科目から2科目を選択して解答する。</p> <p><b>【関数電卓持参可。ただし，携帯電話，スマートフォンを電卓として使用することは不可。】</b></p>
科目② (80分) ※第1次募集のみ	<p>専門科目 <b>※出願時に受験科目を選択</b> 有機化学，無機化学，物理化学，生物化学，分析化学，高分子化学，力学・材料力学 上記7科目から1科目を選択して解答する。</p> <p><b>【関数電卓持参可。ただし，携帯電話，スマートフォンを電卓として使用することは不可。】</b></p>
※ 外国語科目 ※第1次募集のみ	<p>選抜試験日は，外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC 又は TOEFL のスコア(個人用公式認定証)で評価する。</p> <p>出願時にスコアのコピーを提出すること。また，選抜試験日にスコアの原本確認を行うため，当日必ず持参すること。確認ができない場合は，失格となる場合がある。</p> <p>ただし，TOEIC については，Digital Official Score Certificate を印刷したものを提出する場合に限り，当日持参する必要はない(二次元バーコードで原本確認することが可能なため)。</p> <p>スコアの有効期限等：公式認定証は2023年9月1日以降発行のものであること。また，TOEIC-IP(カレッジTOEIC)，TOEIC SW，TOEIC Bridge，TOEFL ITP のスコアは認めない。</p>
口述試験 及び面接	卒業研究等の内容，及び博士前期課程で行う予定の研究内容について質疑を行う。

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ず TOEIC 又は TOEFL を受験できなかった者には，面接の中で英語による質疑を行う。
口述試験 及び面接	面接を行う(口述試験を含む。)

産業創成工学専攻

【創造生産工学コース】

	推薦選抜	第1次募集			(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)			11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	外国語科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—			—	—
一般選抜	—	10:40～12:00	※	13:00～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—			13:00～	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—			13:00～	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目① (80分) <small>※第1次募集のみ</small>	数学(線形代数, 微分積分, 常微分方程式), 材料力学, 流れ学, 熱力学, 機械力学  【関数電卓は持参不可。貸与する関数電卓を使用すること。】
※ 外国語科目 <small>※第1次募集のみ</small>	選抜試験日は, 外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC 又は TOEFL のスコア(個人用公式認定証)で評価する。 出願時にスコアのコピーを提出すること。また, 選抜試験日にスコアの原本確認を行うため, 当日必ず持参すること。確認ができない場合は, 失格となる場合がある。 ただし, TOEIC については, Digital Official Score Certificate を印刷したものを提出する場合に限り, 当日持参する必要はない(二次元バーコードで原本確認することが可能なため)。 スコアの有効期限等: 公式認定証は 2023 年 9 月 1 日以降発行のものであること。また, TOEIC-IP (カレッジ TOEIC), TOEIC SW, TOEIC Bridge, TOEFL ITP のスコアは認めない。
口述試験 及び面接	機械工学に関する事項および卒業研究等の内容, 博士前期課程で行う予定の研究内容について質疑を行う。

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ず TOEIC 又は TOEFL を受験できなかった者には, 面接の中で英語による質疑を行う。
口述試験 及び面接	面接を行う(口述試験を含む。)

産業創成工学専攻

【経営技術革新情報工学コース】

	推薦選抜	第1次募集			(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)			11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	外国語科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—			—	—
一般選抜	—	10:40～12:00	※	13:00～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—			13:00～	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—			13:00～	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目① ※第1次募集のみ (80分)	小論文および総合問題(経営技術革新情報工学コース)の研究に必要な、時事話題、経営学、統計学の基礎内容から選択。問題文に英語を含むことがある。
※ 外国語科目 ※第1次募集のみ	選抜試験日は、外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC 又は TOEFL のスコア(個人用公式認定証)で評価する。 出願時にスコアのコピーを提出すること。また、選抜試験日にスコアの原本確認を行うため、当日必ず持参すること。確認ができない場合は、失格となる場合がある。 ただし、TOEIC については、Digital Official Score Certificate を印刷したものを提出する場合に限り、当日持参する必要はない(二次元バーコードで原本確認することが可能なため)。 スコアの有効期限等:公式認定証は2023年9月1日以降発行のものであること。また、TOEIC-IP(カレッジTOEIC)、TOEIC SW、TOEIC Bridge、TOEFL ITP のスコアは認めない。
口述試験 及び面接	面接を行う(経営学に関する口述試験を含む)。

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ず TOEIC 又は TOEFL を受験できなかった者には、面接の中で英語による質疑を行う。
口述試験 及び面接	面接を行う(口述試験を含む)。

安全社会基盤工学専攻

【機械設計工学コース】

	推薦選抜	第1次募集			(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)			11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	外国語科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—			—	—
一般選抜	—	10:40～12:00	※	13:00～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—			—	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—			—	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目① (80分) <small>※第1次募集のみ</small>	数学(線形代数, 微分積分, 常微分方程式), 材料力学, 流れ学, 熱力学, 機械力学  【関数電卓は持参不可。貸与する関数電卓を使用すること。】
※ 外国語科目  <small>※第1次募集のみ</small>	選抜試験日は, 外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC 又は TOEFL のスコア(個人用公式認定証)で評価する。 出願時にスコアのコピーを提出すること。また, 選抜試験日にスコアの原本確認を行うため, 当日必ず持参すること。確認ができない場合は, 失格となる場合がある。 ただし, TOEIC については, Digital Official Score Certificate を印刷したものを提出する場合に限り, 当日持参する必要はない(二次元バーコードで原本確認することが可能なため)。 スコアの有効期限等: 公式認定証は 2023 年 9 月 1 日以降発行のものであること。また, TOEIC-IP (カレッジ TOEIC), TOEIC SW, TOEIC Bridge, TOEFL ITP のスコアは認めない。
口述試験 及び面接	機械工学に関する事項および卒業研究等の内容, 博士前期課程で行う予定の研究内容について質疑を行う。

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ず TOEIC 又は TOEFL を受験できなかった者には, 面接の中で英語による質疑を行う。
口述試験 及び面接	面接を行う(口述試験を含む。)

## 安全社会基盤工学専攻

### 【電気システム情報工学コース】

	推薦選抜	第1次募集			(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)			11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	外国語科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—			—	—
一般選抜	—	9:30～11:30	※	13:00～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—		13:00～	—	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—		13:00～	—	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目① (120分) <small>※第1次募集のみ</small>	<p>数学系：線形代数, 微分積分(微分方程式を含む)の範囲から2問 物理系：電磁気学, 電気回路, 電子回路の範囲から2問 計4問を出題</p>
※ 外国語科目 <small>※第1次募集のみ</small>	<p>選抜試験日は, 外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC 又は TOEFL のスコア(個人用公式認定証)で評価する。 出願時にスコアのコピーを提出すること。また, 選抜試験日にスコアの原本確認を行うため, 当日必ず持参すること。確認ができない場合は, 失格となる場合がある。 ただし, TOEIC については, Digital Official Score Certificate を印刷したものを提出する場合に限り, 当日持参する必要はない(二次元バーコードで原本確認することが可能なため)。 スコアの有効期限等: 公式認定証は2023年9月1日以降発行のものであること。また, TOEIC-IP(カレッジTOEIC), TOEIC SW, TOEIC Bridge, TOEFL ITP のスコアは認めない。</p>
口述試験 及び面接	電気・電子工学に関する事項, および卒業研究の内容, 博士前期課程で行う予定の研究内容について質疑を行う。

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ず TOEIC 又は TOEFL を受験できなかった者には, 面接の中で英語による質疑を行う。
口述試験 及び面接	面接を行う(口述試験を含む。)

安全社会基盤工学専攻

【建築土木環境工学コース】

	推薦選抜	第1次募集			(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)			11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	外国語科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—			—	—
一般選抜	—	10:30～12:00	※	13:00～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—			—	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—			—	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目① (専門科目)  (90分) <small>※第1次募集のみ</small>	<p>下記の試験科目①から④から、指導希望教員の専門分野の1科目を選択して解答する。</p> <p>①建築構造工学(建築構造,構造力学) ②環境防災工学(地盤工学,地震工学,水理学,材料学,建設構造工学) ③建築設計(建築計画,建築歴史意匠,建築環境工学) ④地域都市計画(都市計画,交通計画)</p> <p>【関数電卓持参可。ただし,携帯電話,スマートフォンを電卓として使用することは不可。】</p>
※ 外国語科目  <small>※第1次募集のみ</small>	<p>選抜試験日は、外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC又はTOEFLのスコア(個人用公式認定証)で評価する。</p> <p>出願時にスコアのコピーを提出すること。また、選抜試験日にスコアの原本確認を行うため、当日必ず持参すること。確認ができない場合は、失格となる場合がある。</p> <p>ただし、TOEICについては、Digital Official Score Certificateを印刷したものを提出する場合に限り、当日持参する必要はない(二次元バーコードで原本確認することが可能なため)。</p> <p>スコアの有効期限等:公式認定証は2023年9月1日以降発行のものであること。また、TOEIC-IP(カレッジTOEIC), TOEIC SW, TOEIC Bridge, TOEFL ITPのスコアは認めない。</p>
口述試験 及び面接	<p>学力検査に現れない建築土木環境工学関連分野における基礎知識および研究を遂行していく上での基本的能力を口頭試問する。また、地域や環境に対する建築土木環境工学技術者の役割に対する理解と勉学に対する熱意・意欲、ならびに卒業研究の概要と大学院での研究目標をプレゼンテーションし、その内容と当該研究分野の専門知識に関する口頭試問する。</p> <p>【プレゼンテーション要領】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プレゼンテーション時間は5分とする。</li> <li>2. 試験会場では、発表用のファイルを保存した受験者のPC(HDMIまたはD-Sub 15pin(オス)接続可能なもの)をプロジェクターに接続して、スクリーンに投影する。ただし、iPadのようなタブレットの使用は不可とする。なお、PC及びPC用の電源ケーブルは各自で持参すること。接続に必要なケーブルは、本学で用意する。</li> <li>3. プレゼンテーションは、各自のPCに保存したプレゼンテーションソフトを用いて行うことを原則とする。</li> </ol>

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ずTOEIC又はTOEFLを受験できなかった者には、面接の中で英語による質疑を行う。
口述試験 及び面接	面接を行う(口述試験を含む。)

安全社会基盤工学専攻

【原子力安全工学コース】

	推薦選抜	第1次募集			(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)			11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	外国語科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—			—	—
一般選抜	—	10:40～12:00	※	13:00～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—		13:00～	—	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—		13:00～	—	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目① (80分) ※第1次募集のみ	数学 微分積分, 微分方程式, 確率・統計, 線形代数の範囲から2問 小論文 1問 計3問を出題
※ 外国語科目 ※第1次募集のみ	選抜試験日は, 外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC 又は TOEFL のスコア(個人用公式認定証)で評価する。 出願時にスコアのコピーを提出すること。また, 選抜試験日にスコアの原本確認を行うため, 当日必ず持参すること。確認ができない場合は, 失格となる場合がある。 ただし, TOEIC については, Digital Official Score Certificate を印刷したものを提出する場合に限り, 当日持参する必要はない(二次元バーコードで原本確認することが可能なため)。 スコアの有効期限等: 公式認定証は2023年9月1日以降発行のものであること。また, TOEIC-IP(カレッジTOEIC), TOEIC SW, TOEIC Bridge, TOEFL ITP のスコアは認めない。
口述試験 及び面接	入学後の研究計画に関するプレゼンテーション(3分), ならびにその内容と当該研究分野の専門知識に関する口頭試問とする。

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ず TOEIC 又は TOEFL を受験できなかった者には, 面接の中で英語による質疑を行う。
口述試験 及び面接	面接を行う(口述試験を含む。)

知識社会基礎工学専攻

【知能システム科学コース】

	推薦選抜	第1次募集			(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)			11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	外国語科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—			—	—
一般選抜	—	10:40～12:00	※	13:00～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—			—	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—			—	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目①  (80分) ※第1次募集のみ	<p>基礎科目 数学：微分積分，線形代数 物理：力学，電磁気学</p> <p>専門科目 数学：応用数学 物理：電気電子回路，熱力学，連続体力学</p>
※ 外国語科目  ※第1次募集のみ	<p>選抜試験日は，外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC又はTOEFLのスコア(個人用公式認定証)で評価する。</p> <p>出願時にスコアのコピーを提出すること。また，選抜試験日にスコアの原本確認を行うため，当日必ず持参すること。確認ができない場合は，失格となる場合がある。</p> <p>ただし，TOEICについては，Digital Official Score Certificateを印刷したものを提出する場合に限り，当日持参する必要はない(二次元バーコードで原本確認することが可能なため)。</p> <p>スコアの有効期限等：公式認定証は2023年9月1日以降発行のものであること。また，TOEIC-IP(カレッジTOEIC)，TOEIC SW，TOEIC Bridge，TOEFL ITPのスコアは認めない。</p>
口述試験 及び面接	知識社会基礎工学専攻のアドミッション・ポリシーに対する適合度を見る質疑応答，及び面接(口述試験を含む。)を行う。

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ずTOEIC又はTOEFLを受験できなかった者には，面接の中で英語による質疑を行う。
口述試験 及び面接	面接を行う(口述試験を含む。)

知識社会基礎工学専攻

【情報工学コース】

	推薦選抜	第1次募集			(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)			11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	外国語科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—			—	—
一般選抜	—	10:40～12:00	※	13:00～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—		13:00～	—	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—		13:00～	—	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目① (80分) <small>※第1次募集のみ</small>	数学：微分積分，線形代数
※ 外国語科目 <small>※第1次募集のみ</small>	<p>選抜試験日は，外国語科目（英語）の試験は実施しない。TOEIC 又は TOEFL のスコア（個人用公式認定証）で評価する。</p> <p>出願時にスコアのコピーを提出すること。また，選抜試験日にスコアの原本確認を行うため，当日必ず持参すること。確認ができない場合は，失格となる場合がある。</p> <p>ただし，TOEIC については，Digital Official Score Certificate を印刷したものを提出する場合に限り，当日持参する必要はない（二次元バーコードで原本確認することが可能なため）。</p> <p>スコアの有効期限等：公式認定証は2023年9月1日以降発行のものであること。また，TOEIC-IP（カレッジTOEIC），TOEIC SW，TOEIC Bridge，TOEFL ITP のスコアは認めない。</p>
口述試験 及び面接	面接を行う（口述試験を含む。）。

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ず TOEIC 又は TOEFL を受験できなかった者には，面接の中で英語による質疑を行う。
口述試験 及び面接	面接を行う（口述試験を含む。）。

知識社会基礎工学専攻

【数理科学コース，電磁工学コース】

	推薦選抜	第1次募集			(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)			11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	外国語科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—			—	—
一般選抜	—	10:00～11:20	※	13:30～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—		13:30～	—	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—		13:30～	—	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目① (80分) <small>※第1次募集のみ</small>	数学 線形代数，微分積分，ベクトル解析，常微分方程式 上記から2題出題
※ 外国語科目 <small>※第1次募集のみ</small>	選抜試験日は，外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC 又は TOEFL のスコア(個人用公式認定証)で評価する。 出願時にスコアのコピーを提出すること。また，選抜試験日にスコアの原本確認を行うため，当日必ず持参すること。確認ができない場合は，失格となる場合がある。 ただし，TOEIC については，Digital Official Score Certificate を印刷したものを提出する場合に限り，当日持参する必要はない(二次元バーコードで原本確認することが可能なため)。 スコアの有効期限等：公式認定証は2023年9月1日以降発行のものであること。また，TOEIC-IP(カレッジ TOEIC)，TOEIC SW，TOEIC Bridge，TOEFL ITP のスコアは認めない。
口述試験 及び面接	出願書類に基づく面接を行い，工学系の基礎学力に関する質疑を行う。

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ず TOEIC 又は TOEFL を受験できなかった者には，面接の中で英語による質疑を行う。
口述試験 及び面接	面接を行う(口述試験を含む。)

知識社会基礎工学専攻

【電子物性コース】

	推薦選抜	第1次募集			(第2次募集)	
選抜区分	7月4日(金)	8月21日(木)			11月28日(金)	
	口述試験 及び面接	科目①	外国語科目	口述試験 及び面接	外国語 科目	口述試験 及び面接
推薦選抜	13:00～	—			—	—
一般選抜	—	9:30～11:30	※	13:00～	※	13:30～
社会人特別選抜	—	—		13:00～	—	13:30～
外国人留学生 特別選抜	—	—		13:00～	—	13:30～

学力検査等の内容(推薦選抜及び第1次募集)	
科目① (120分) ※第1次募集のみ	<p>数学系：線形代数, 微分積分(微分方程式を含む)の範囲から2問 物理系：電磁気学, 電気回路, 電子回路の範囲から2問 計4問を出題</p>
※ 外国語科目 ※第1次募集のみ	<p>選抜試験日は, 外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC 又は TOEFL のスコア(個人用公式認定証)で評価する。 出願時にスコアのコピーを提出すること。また, 選抜試験日にスコアの原本確認を行うため, 当日必ず持参すること。確認ができない場合は, 失格となる場合がある。 ただし, TOEIC については, Digital Official Score Certificate を印刷したものを提出する場合に限り, 当日持参する必要はない(二次元バーコードで原本確認することが可能なため)。 スコアの有効期限等: 公式認定証は2023年9月1日以降発行のものであること。また, TOEIC-IP(カレッジTOEIC), TOEIC SW, TOEIC Bridge, TOEFL ITP のスコアは認めない。</p>
口述試験 及び面接	<p>電気・電子工学に関する事項, および卒業研究の内容, 博士前期課程で行う予定の研究内容について質疑を行う。</p>

学力検査等の内容(第2次募集)	
※外国語科目	<p>上記「第1次募集」の外国語科目と同様とする。やむを得ず TOEIC 又は TOEFL を受験できなかった者には, 面接の中で英語による質疑を行う。</p>
口述試験 及び面接	<p>面接を行う(口述試験を含む。)</p>

## 「感染症に関する注意事項について」

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻しん等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験は認められません。ただし、症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防対策を励行し、自己の健康管理を徹底するように注意してください。

なお、上記理由により受験できなかった場合、追試験は実施せず、検定料の返還も行いません。

※感染症の状況に応じて変更する場合があります。変更となった場合は、本学ホームページの「受験者の方へ」内でお知らせします。

## Ⅷ. 工学研究科博士前期課程案内

### 1. 各専攻の授業科目及び授業担当教員

区 分	授 業 科 目
工 学 研 究 科 共 通	科学英語コミュニケーションⅠ, 同Ⅱ, 科学英語表現Ⅰ, 同Ⅱ, 科学英語特別講義, 大学院海外短期インターンシップⅠ, 同Ⅱ, インターンシップ(企業派遣実習), 長期インターンシップ, PBLⅠ, 同Ⅱ, 情報PBLⅠ, 同Ⅱ, 生命複合科学特論Ⅰ, 同Ⅱ, 工業日本語特論Ⅰ, 同Ⅱ

専攻	授 業 科 目	授 業 担 当 教 員 名
産業創成工学専攻	産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ, 同Ⅱ, 産業創成工学特別講義Ⅰ, 同Ⅱ, 同Ⅲ, 同Ⅳ, 産業創成工学ゼミナールⅠ, 同Ⅱ, MOT概論, 産業創成工学PBL, 経営学基礎, 技術経営のすすめ, 技術系のマネジメント基礎, 起業化経営論, システム創造思考法, 異分野コミュニケーション, 材料・加工工学概論, 繊維・高分子材料科学, 繊維・高分子架橋体工学, 繊維・高分子加工工学, 繊維・高分子材料レオロジー特論, カラーレーション工学, 無機材料化学特論, 繊維産業工学, セラミックス材料特論, 塑性加工工学, 金属材料強度学, ナノトライボロジー, 機械加工学特論, 機械材料特論, サステイナブルケミストリー概論, 重合反応論, 界面コロイド化学, 高分子設計論, 応用分析化学, 有機化学特論, 高分子構造特論, 高分子分子論, 線形粘弾性解析論, 化学工学特論, 高分子反応工学, ライフサイエンス概論, 生物有機化学特論, バイオ高分子化学特論, 分子構造・環境解析化学特論, 分子細胞生物学特論, 生命機能科学特論, バイオマテリアル特論, 生物工学特論	<p><b>繊維先端工学コース</b> 田上秀一, 登阪雅聡, 中根幸治, 久田研次, 廣垣和正, 藤田聡, 植松英之, 坂元博昭, 高村映一郎, 浅井華子, 平田豊章</p> <p><b>材料開発工学コース</b> 内村智博, 金在虎, 阪口壽一, 徳永雄次, 入江聡, 岡田敬志, 鈴木清, 田中穰, 内藤順也</p> <p><b>生物応用化学コース</b> 沖昌也, 小西慶幸, 櫻井明彦, 里村武範, 杉原伸治, 前田寧, 吉見泰治, 鈴木悠, 高橋透, 寺田聡, 梶田真司, 辻岳志, 松本篤</p> <p><b>創造生産工学コース</b> 大津雅亮, 岡田将人, 本田知己, 旭吉雅健, 山下順広, 今智彦</p> <p><b>経営技術革新工学コース</b> 米沢晋, 竹本拓治</p>
安全社会基盤工学専攻	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ, 同Ⅱ, 安全社会基盤工学特別講義Ⅰ, 同Ⅱ, 同Ⅲ, 同Ⅳ, 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ, 同Ⅱ, 社会インフラ概論, 量子エネルギー応用論, 半導体デバイス, システム工学特論, 信号処理特論, 計算科学, 計算機工学特論, 建築弾塑性力学, 建築都市計画特論, 都市論, 都市計画特論, 土木構造特論, 構造材料学, 日本建築史特論, 建築インターンシップ, エネルギー概論, 熱事象・エネルギーシステム, 冷凍空調工学特論, 数値流体力学, 統計力学, エネルギー工学特論, 電力システム, 原子炉システム基礎Ⅰ, 同Ⅱ, 核燃料サイクル実習, 原子炉実習, 原子炉物理学, 次世代炉システム, 熱水力安全工学, 原子力材料学特論, 核燃料工学特論, プラント安全工学基礎Ⅰ, 同Ⅱ, 原子力の安全性と地域共生, 原子力プラント設計工学, 原子力プラント保全工学, 原子力安全演習Ⅰ, 同Ⅱ, リスクマネージメント概論, 安全安心の熱流体工学, 地震工学特論, 国土・地域計画特論, 原子力規制・法規, 放射線基礎Ⅰ, 同Ⅱ, 放射化学特論, 放射線化学・生物学特論, 原子力防災特論, 放射線物理学特論, 放射線利用, リスク評価特論, 廃止措置・廃棄物管理工学, 原子力・耐震耐津波工学特論, 安全設計概論, 精密メカトロニクス, 制御システム, 機械動力学, ロボット工学, 回路・システム論, システム制御論, 暗号と情報セキュリティ, 建築構造設計学, 建築耐震構造解析学, 建築都市設計論, 地盤解析学, 地下水工学, 交通論, 建築換気力学, 光環境工学特論, 原子力工学基礎Ⅰ, 同Ⅱ	<p><b>機械設計工学コース</b> 伊藤慎吾, 田中太, 党超鋌, 永井二郎, 梅本和希, 太田貴士, 川井昌之, 吉田達哉, 福島啓悟</p> <p><b>電気システム工学コース</b> 伊藤雅一, 王榮龍, 廣瀬勝一, Asubar Joel Tacla, 今川隆司, 木村欣司, 茂呂征一郎, 重信颯人, 田邊英彦</p> <p><b>建築土木環境工学コース</b> 磯雅人, 川本義海, 原田陽子, 井上圭一, 菊地吉信, 鈴木啓悟, 寺崎寛章, 西本雅人, 藤本明宏, 桃井良尚, 浅野周平, 本間礼人, 山田岳晴</p> <p><b>原子力安全工学コース</b> 桑水流理, 石垣将宏, 中島恭平, 松尾陽一郎, 松田直樹, 川崎大介, 阮小勇, 有田裕二, 泉佳伸, 福元謙一, 安田仲宏, 後藤実, 吉田邦一</p>

知識社会基礎工学特別演習及び実験Ⅰ，同Ⅱ，知識社会基礎工学特別講義Ⅰ，同Ⅱ，同Ⅲ，同Ⅳ，知識社会基礎工学ゼミナールⅠ，同Ⅱ，ヒューマンサイエンス概論，三次元情報処理特論，パターン認識特論，聴覚情報処理，バイオメカニクス，最適運動計画特論，人間知能システム論，生物情報学，ヒューマンロボティクス，コンピュータサイエンス概論，計算量理論，映像情報符号化特論，計算機組織論，量子力学と量子コンピューティング，情報信号処理工学特論，情報通信論，通信ネットワークデザイン，デジタル移動通信特論，計算物理学特論，計算化学特論，移動知能論，サービスコンピューティング特論，モバイルコンピューティング論，物性物理概論，量子光学Ⅰ，同Ⅱ，核磁気共鳴特論，電気エネルギー基礎論，分子熱力学，光エレクトロニクス特論，電波物性，低温物理学，基礎電磁波論，マイクロ波分光光学，遠赤外光学，遠赤外領域工学概論，電子管物理特論，電磁波工学特論，半導体表面界面物性，粒子線計測学，放射線物理学，高分子科学，レーザーフォトンクス，極限環境物性学，界面熱力学，薄膜工学，電子物性特論，数理情報科学概論，数理解析基礎，解析学特論，代数学特論，幾何学特論，相対論特論，量子力学特論，量子統計力学特論，デジタル制御論，知識情報工学論，脳情報学，データベース論，深層学習，データサイエンスプログラミング，線形計算特論，画像計測特論，機械学習特論，データサイエンス特論，非線形システム論，

#### 知能システム科学コース

小越康宏，黒岩丈介，高田宗樹，高橋泰岳，浪花智英，藤垣元治，前田嘉一，浅井竜哉，庄司英一，田中完爾，中江健，築地原里樹，佐藤勇貴

#### 情報工学コース

岩田賢一，橘拓至，東海彰吾，樋口健，藤元美俊，森眞一郎，山田徳史，吉田俊之，川上朋也，長谷川達人，福間慎治，森幹男，山形頼之，加藤彦彦

#### 数理科学コース

古石貴裕，古閑義之，佐藤勇二，田嶋直樹，玉井良則，加藤康之，松本拓也，和久井洋司

#### 電子物性コース

塩島謙次，山本晃司，川戸栄，牧野哲征，今林弘毅，中尾慧

#### 電磁工学コース

浅野貴行，小川泉，熊倉光孝，光藤誠太郎，石松亮一，西海豊彦，守安毅，立松芳典，谷正彦，Escaño Mary Clare Sison，山口裕資，藤井裕，石川裕也，福成雅史，古野達也，古屋岳

注：授業科目及び授業担当教員は予定であり，今後変更の可能性もあります。最新の情報は本学ホームページからシラバスで確認してください（右の二次元バーコードからも確認できます）。

[https://www.u-fukui.ac.jp/cont\\_life/academic/instruction/](https://www.u-fukui.ac.jp/cont_life/academic/instruction/)

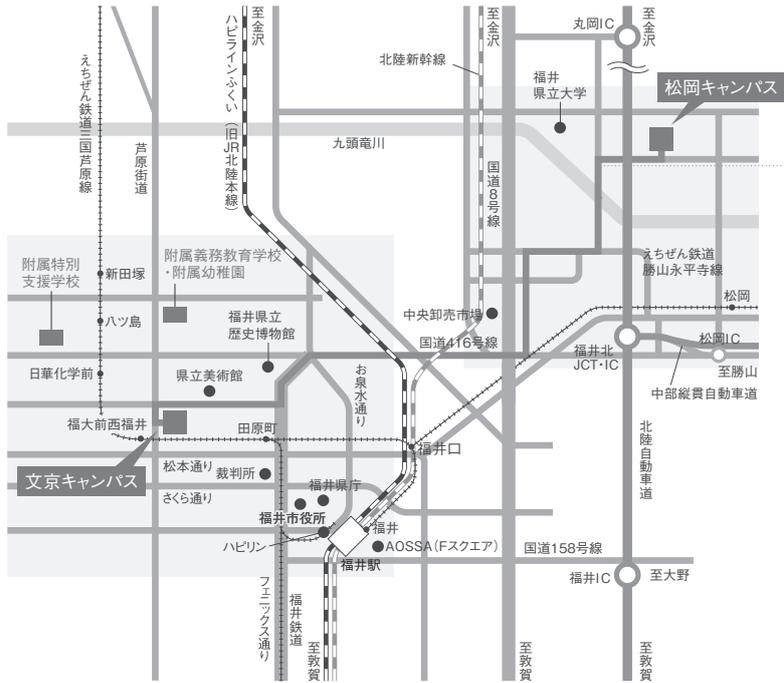


#### <参考> Curriculum of the Global Engineering Program for International Students (GEPIS) 「国際総合工学特別コースカリキュラム」 (GEPIS カリキュラム)

本入試に合格した者は，通常の博士前期課程カリキュラムで学ぶことも，講義・演習・研究発表等を英語で行う GEPIS のカリキュラムで学ぶこともできます。（どちらか一方を選択します。なお，GEPIS のカリキュラムには，別途 GEPIS 専用の選抜で入学した外国人留学生が参加します。）

GEPIS カリキュラムの履修を希望する者は，合格後に指導希望教員に申し出てください。（指導希望教員の推薦と所属専攻の承認が必要となります。）

# 福井大学位置図



両キャンパスを結ぶ連絡バスで移動できます。(約30分)



## ■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路

- 鉄 道 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

## ■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路

- バ ス 福井駅ー(約10分)ー福井大学前下車  
[福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄 道 えちぜん鉄道福井駅ー福大前西福井駅下車  
[福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]  
\*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅ー(約10分)ー福井大学文京下車  
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km  
福井ICから国道158号線で西へ約8km

## ■松岡キャンパス【医学部】への経路

- バ ス 福井駅ー(約35分)ー福井大学病院前下車  
[福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄 道 えちぜん鉄道福井駅ー松岡下車 バスに乗り換え約5分  
[福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス]  
\*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅ー(約30分)ー福井大学松岡下車  
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km  
\*標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

## 福井へのアクセス

### 大阪・京都方面から

- 電車 大阪・京都ー湖西線経由ー福井  
(特急・新幹線で、京都から約1時間15分、大阪から約1時間45分)
- 自動車 大阪・京都ー<名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC  
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バス 大阪・京都ー<名神・北陸>ー福井  
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

### 名古屋・静岡方面から

- 電車 名古屋・静岡ー米原経由ー福井  
(名古屋から新幹線・特急で約1時間30分)
- 自動車 名古屋ー<名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC  
(約2時間)
- 高速バス 名古屋ー<名神・北陸>ー福井(約2時間50分)

### 東京方面から

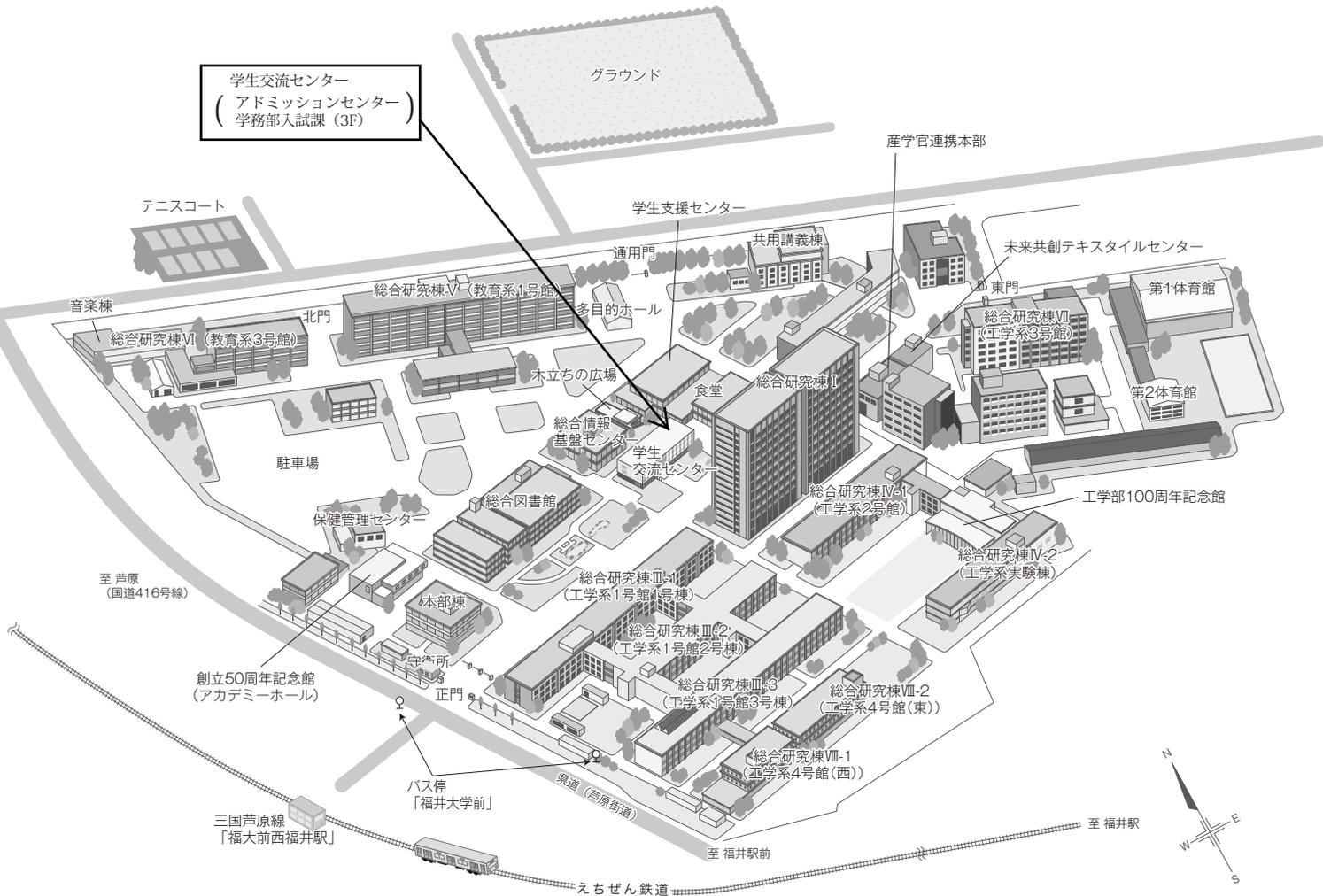
- 飛行機 東京羽田ー小松空港(1時間)ー福井(連絡バス1時間)
- 電車 東京ー福井(新幹線約2時間50分)(直通)  
東京ー米原経由ー福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車 東京ー<東名・名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC  
(約6時間30分)

### 金沢・新潟方面から

- 電車 金沢・新潟ー福井(金沢から新幹線で約20分)
- 自動車 金沢ー<北陸>ー丸岡ー福井北JCT・IC(約1時間)



# 福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



## 《受験に関する問い合わせ先》

### 福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京3-9-1

TEL 0776-27-9927

MAIL [g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp](mailto:g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp)

#### <注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。  
〔福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>〕
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。